



挨拶する黒石会長

日本代協・阪神ブロック コンベンションを開催

日本代協阪神ブロック協議会(大阪代協、兵庫代協、和歌山県代協、黒石光寿会長)は、平成27年10月7日(水)午後

1時40分から、大阪市中央区北浜の損保会館9階講堂で、日本代協コンベンション・阪神ブロック協議会版「環境変化を成長のチャンスに!」をテーマに式典とセミナーを開催した。これには3代協、保険会社、損保協会などから87名が参加。式典の閉会にあたり、黒石会長が「我々を取り巻く環境は平成28年5月

29日に施行予定となった改正保険業法を大きな節目として、皆様には今回のテーマでもある環境変化をチャンスと捉えて自己研鑽に努め、業界の発展に尽力していただきたい」と挨拶。
財務省近畿財務局理財部金融監督第3課の松田卓也上席調査官、損害保険協会の岩崎武募集・研修サービスマネージャの祝辞の後、損害保険トータルプランナーの資格を新たに取得した会員代理店所属の保険募集人のうち出席者に所属代協会長が記念

品を贈呈。
続いて行われたセミナーでは、日本代協の野元敏昭専務理事が、保険業法改正に向けて「新しい保険募集ルールの底流と代理店の目指す道」環境変化を成長のチャンスに! 変わらなければ変われない」と題し、①業法改正の狙いと背景、②改正のポイント、③保険募集ルールの概要、④体制整備義務、⑤規模の大きな特定保険募集人、⑥環境変化に適応するなど項目について講演。

野元氏は、新しい保険募集ルールに対し、代理店は「変化する環境を前向きに受け止め、自らを変え、」3M(ミニマム)を超える価値を明確にし、磨く「経営方針は自分で考え、常に改善していく」姿勢、つまり「自立」と「自律」が求められると述べた。そして変化に対応する視点として「組織として機能する代理店を作り上げる」「1人当たりの生産性を高める」まずは1000万円「クリア」社会環境の変化テクノロジーの進化に対応する」などの必要があることを強調した。